

タリンが最初に文献に登場したのは1154年。北ヨーロッパ最古の首都です。ユネスコ世界遺産の旧市街は、空港から車で15分の距離にあり、港からは徒歩圏内のところにあります。港の北限であることから、交易の重要な点として栄えてきたこの地は、石畳が敷き詰められた迷路のような通りになっていて、中世のおとぎの国に迷い込んだような錯覚を感じさせてくれます。

歴史的建築物はもちろんのこと、北欧風デザイン・雑貨やハンディクラフト、キャラリー、バリエーション豊かなカフェ巡り等、散策の素材には事欠きません。この街では、甘さ控えめのイーストを試していただくこともお忘れなく。

そして、ほんどのカフェやレストラン、ホテルでは無料のwifiが提供されていて、新旧のコントラストを観ることができます。この街の特色です。冬には日本人



の方々にも人気のクリスマスマーケットが開催され、エストニア各地で作られたクリスマス用品が出品されます。

旧市街からバスやトラムで足を延ばすことにより、さらなる魅力が待っています。エストニア地区の100年以上の歴史を持つ公設市場には、現地の食事が可愛い建物に並んでいます。カドリオルグ地区には、ロシアのヨーロッパ大帝によって18世紀に建てられたハロック様式のカドリオルグ宮殿、2008年欧洲美術鑑賞を受賞したクム美術館があり、そこから少し足を延ばせば、テレビ塔から周囲を一望することができます。

テレビ塔からほど近い「歌の原」はユネスコ無形文化遺産の「歌と踊りの祭典」

RIGA & JŪRMALA リガ & ユールマラ

リガの中心はユニークな建物の多い旧市街でユネスコ世界遺産に登録されています。リガは「シヨナルオペラ」で世界でも高水準のオペラ、バレエ、ボッサミュージックが上演されています。リガは2014年にヨーロッパ文化首都に選ばれています。ヨーロッパの中心地と考えられているのはその素晴らしいスタイルの建物が豊富に揃っています。マーケットに隣接するスピルクエ(Spīķeri)地区では定期的に美術品展示会やコンサートが開催されています。またリガがアール・ヌーボーの中心地と考えられているのはその素晴らしいスタイルの建物が世界のどの都市よりも数多く存在しているからです。パレダウガワは19世紀の独特な木造建築物が多く見られる町でカルンシエマ・イエラ地区も修復され非常に魅力的な町並みになりました。



リガ郊外にある民族野外博物館はヨーロッパでも最も古い野外の民族博物館の一つで、古代ラトビア農民の木組建築物が有名です。

ユーロマラは首都リガから2.3km、ラトビアで最も人気があり、また、パルト諸国では最も大きなビーチリゾートです。遊泳可能な白砂のビーチ、松林から流れれるさわやかな空気、伝統的ミネラルウォーター、スパや温泉施設などユーロマラは健康増進と人生を満喫するには最適の場所です。

www.liveriga.com

KURZEME クルゼメ地方

クルゼメの魅力は森林や海にあり、それは地域の歴史や伝統だけではなくその地方の気質を形成できました。コルカ岬は、ラトビア最北西地点で両方向から海水が交わっています。海と湾の流れ、日の出と日没そして風から風の風が出会う場所です。

風とロックミュージックのラトガレ地方(Lepa ja)では素敵なレストランやホテル、世界遺産などが注目です。聖三位一体教会の

VILNIUS ヴィルニス

リトアニアの首都。東欧諸国でも最も旅行客の多い都市の一つです。旧市街は1994年にユネスコ世界遺産に登録され、建物はロッカ・ゴシック・ルネサンス・バロックスタイルなど多様です。旧市街は「ヨーロッパでも最も古い野外の民族博物館」の一つで、古代ラトビア農民の木組建築物が有名です。リトアニアの中心で、伝説に残るゲティミナス城や近年修復された王宮が隣接しています。旧市街のメインストリートの一つはアレマン・マテー(Alma Mater)と呼ばれる12の中庭を有する大学の総合学舎があり、400年を超える学問の歴史を有しています。「夜明けの門」(Gates of Dawn)内部の奇跡的起立する像と信じられている聖母マリアの絵画は有名です。他に旧市街など魅力的なスポットがあります。ネリス川は旧市街と高層ビルが建ち並ぶコンシティユージョン通り(Constitution Avenue)の新しい市街を分ける美しい川です。新市街では発達したインフラが整い、さまざまなレベルの宿泊施設、飲食店や娯楽施設を楽しむことができます。ヴィルニスは主要な芸術、文化団体や芸術家達の中心地です。夏季期間中、国内外のカルチャーベンツも多くのヴィルニス、フェスティバルやリストアーフェスティバルが催され伝統音楽、モダン・ミュージック、ストリート・ミュージック、ダンス・民族舞踊、モダンダンスなど工夫の凝らしたイベントが目白押します。



リトアニアの文化、伝統の中心地で、一時期は首都でもありました。カウナスは「アーティストの街」で有名です。ライスエフ・ヨーリ(Laisves aleja-Alley of Freedom)は活気にあふれた石畳の通りで16世紀の建物も残っています。カウナスの中心地です。この建築構造はゲルマン文化の影響を受け、町の創設以来ずっと利用されています。

カウナスは、多くのアートイベントや音楽祭、フェスティバル、モダンダンスなど、多くの文化活動で有名です。

KAUNAS カウナス

カウナスは、多くのアートイベントや音楽祭、フェスティバル、モダンダンスなど、多くの文化活動で有名です。

カウナスは、多くのアートイベントや音楽祭、

